

「風の人」2号(通巻10号)THE MAN IN THE WIND

THE SUPPORTING NEWSPAPER FOR MR.SHIROSAKI

風の人 タク라마カン砂漠の風はどんな味がするのだろう

No2(通巻10号) '98.1月号

3 98年1月11日発行 年間購読代千五百円

4 城崎さんと共に浮かぶ会・神奈川

5 郵便振替 00260・4・86033

6 東京都港区新橋2-8-16石田ビル4F 救援連絡センター

7 川崎市幸区古川町66 関 博明

8 大和市大和東3-3-7~201(0462-61-8450) 桧森孝雄

新年の報告

城崎さんの無実-即釈放を求める試みは、1月26日の量刑判決公判を当面の課題としています。弁護人と城崎さんとの意志疎通がかみあわない状況下でも、米国=FBIの隔離政策が強化される中で、よりいっそう互いの交わりと確信を固める試みが問われています。

検閲、嫌がらせの強化 アーリントンでは検閲が建前上はないことになっていますが、FBIの管轄下にある城崎さんへの通信が完全な検閲下にあるだろうことは予想されたことです。11・29の集い前後の通信はいまなお彼の手元に入っておらず、救援の方向を相互確認することが困難な状況です。その他の通信も4週かかるものが出ており、抜き取られ手元に入っていない件も報告されています。

在米救援の創造 現在、城崎さんと面会しているのは、隔離政策と歩を同じくしている弁護士サイドと宗教関係者のみです。在米救援の創設がいっそう重要となる段階ですが、在米の自覚した人々への通信も実り未だなく、11・29集会アピールの各種団体への送付に対しても応答は未だなしです。歩みはノロくても、試みは続けられます。

量刑判決公判 今回もYさんが渡米されます。私達も可能なことは一つ一つ続けます。皆様のご理解とご支援をお願いします。(浮かぶ会)

1・25 城崎さんの無実-即時釈放を求める集い IN OSAKA

陪審-有罪評決に抗議し城崎さん自身の意志での自由帰国を求める大阪の集いを

日時;1月25日午後2時から

場所;海員会館(~人民新聞社)

(大阪市港区港晴3-3-18 地下鉄中央線「朝潮橋」駅下車徒歩約7分) 集い参加

加費;百円

~城崎さんと浮かぶ会・神奈川~

TEL・FAX;0462-61-8450

(留守電利用もお願いします-ヒモリ)

＝今号掲載文について＝

- ① 11・29集いアピールは英訳をお願いし、在米関係に送らせてもらいました。翻訳していただいた方に改めてお礼申し上げます。
- ② 日本赤軍が96年9月に城崎さん被逮捕に際して声明を発表していたことが、昨年12月31日に、東京拘置所に拘束されている丸岡修さんの手紙から判明しました。声明は86年ジャカルタ闘争に城崎さんも日本赤軍も関与していないと表明しています。当該資料を送っていただいた方々に改めて感謝を述べさせていただきます。
- ③ 東京拘置所に拘束されている浴田由紀子さん、丸岡修さんから、城崎さんは日本赤軍のメンバーではないとのメッセージをいただきました。

②と③は一審公判全体の前提を取り除く「証拠」であり、量刑判決に活用されるよう、あらゆる努力をなすつもりでいます。現在の弁護人が、日本側救援と交通を開く意志がないことを表明している下で、どれだけのことが出来るか不明ですが、世界中の人々と手を携えていく中でしか城崎さんの無罪―即時釈放の大道が真に創り出せない以上、試みを最後まで続けます。皆様のご理解とご支援をお願いします。(共に浮かぶ会・神奈川)